



平成28年11月1日

各位

上場会社名 株式会社 プラコー
 代表者 代表取締役社長 黒澤 秀男
 (コード番号 6347)
 問合せ先責任者 総務・経理部部长 山崎 正彦
 (TEL 048-798-0222)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,960	116	104	89	3.31
今回修正予想(B)	1,686	116	123	157	5.83
増減額(B-A)	△274	0	19	68	
増減率(%)	△14.0	△0.2	18.4	76.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	1,662	62	57	46	1.73

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,774	194	170	136	5.03
今回修正予想(B)	3,638	243	242	256	9.48
増減額(B-A)	△135	48	72	120	
増減率(%)	△3.6	25.2	42.7	88.6	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	3,457	129	125	92	3.40

修正の理由

(第2四半期累計期間)

売上高につきましては、第2四半期累計期間に予定されていた一部の大型成形機の売上計上が生産スケジュールの変更により第3四半期会計期間以降の計上予定となったことから、前回発表予想を下回る見込みです。営業利益については仕入コスト、外注加工費の低減に加え、設計、加工段階での効率化が進んだ結果、利益率の改善が進み、前回発表予想の水準となる見込みです。経常利益は利益率の改善に加え、為替差益の影響等により前回発表予想を上回る見込みです。

また、四半期純利益は繰延税金資産の回収可能性の検討に伴う法人税等調整額の計上により、前回発表予想を上回る見込みです。

(通期予想)

売上高につきましては、一部に受注に至らない成形機案件があり前回発表予想を下回るものの、概ね前回発表予想の水準となる見込みです。営業利益、経常利益については仕入コスト、外注加工費の低減に加え、設計、加工段階での効率化による利益率の改善が進んでいることから、前回発表予想を上回る見込みです。

また、当期純利益については、利益率の改善に加え、繰延税金資産の回収可能性の検討に伴う法人税等調整額の計上により、前回発表予想を上回る見込みです。

(注)上記の業績予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予定数値と異なる可能性があります。

以上